



部門賞 ローカルビジネス部門

選考委員からのコメント



佐久間 信哉氏

地元産ハチミツを使った地域限定クラフトビールの製造過程で発生する麦の空き袋や絞り粕を活用し販促資材に転換することにより地産地消を目指した取組であり、その過程で障がい者の就労支援にも貢献するなど、今後のさらなる発展が期待されます。



阪口 瀬理奈氏

アップサイクルの場合、ストーリーだけでなく商品そのものの魅力も問われると思うが、麦袋で作られたトートバックはデザイン性が高く、さらに製造工程でも作業性も考慮されており、アップサイクルの代表事例といわれるものになると思います。

SDGsインパクト



【ターゲット 8.9】

各地の産品販促等につながる、持続可能な観光業を推進する政策を立案・実施する

地産地消クラフトビールの商品 PR を目的に、デザインを工夫しながらサステナブルな販促グッズを制作した。「デザイン」と「SDGs」を掛け合わせ、ビジネスにつなげる取組として評価できる。



【ターゲット 10.2】

年齢、性別、障害、人権、民族、出自、宗教、経済的地位やその他の状況にかかわらず、すべての人々に社会的・経済的・政治的に参画できる力を与え、その参画を推進する

障害者就労支援施設や地域の技術を基盤とした取組。すべての人々が強みを活かし、社会とのつながりをもつことを推進している。



【ターゲット 12.5】

廃棄物の発生を再生利用等により大幅に減らす

本来であれば廃棄されていたはずの副産物を、主産物の販促グッズとして生まれ変わらせたことで、廃棄物の抑制に加えて、商品に付加価値を与える取組として、環境・経済・社会の3側面に貢献している。

クラフトビール製造の副産物をアップサイクルした販促グッズで売上向上！

静岡醸造（株） × 駿府の工房 匠宿 × 就労継続支援B型事業所 rico ×
（株）第一クリエイティブ × 縫製作家 15（イコ） × 桜井養蜂

1.取組概要
「地域資源の活用」をテーマに、市内の企業や障害者支援施設との協働により、クラフトビール製造の副産物を原料として、トートバッグや手漉き紙によるタグ等のグッズを開発しました。出来上がったグッズは、静岡産のハチミツを使用した地域限定クラフトビールの販促に利用し、静岡の新たな特産品として売上向上に役立てられています。

2.該当するSDGs目標

地域企業の協働によって、地元素材を使った製品の売上拡大を目指します。これにより、やりがいのある仕事の創出と、商業的にも持続可能な地産地消を実現します。

3.目標に対する達成状況、実績

地域限定クラフトビールは取組以降取扱店での売上好調を維持しながら販売を継続しています。
また本取組が新聞で紹介されるなど関係企業団体のイメージ向上にも貢献しました。

4.取組イメージ

静岡産のハチミツを使用した地域限定クラフトビールと副産物から作ったグッズのトートバッグ（手漉き紙のタグ付き）をセットにして販売しています。

本取組の概念図です。地域の原料、技術、人の力を余す所なく活用して魅力ある製品を製造し、持続可能な地産地消を目指します。

5.取組が開始されたきっかけと展開

【地産のハチミツを使用した地域限定クラフトビール「ハニービール」】
「静岡醸造」と「桜井養蜂」が近隣にあったことから、魅力ある地産地消の商品を開発しようと意気投合し、地域限定クラフトビールの開発に繋がりました。ハチミツの香りとクラフトビールの味わいのバランスを何度も調整し、静岡醸造の入居する「駿府の工房 匠宿」で地域限定商品として発売を始めました。

【クラフトビール原料の麦の空き袋を使ったトートバッグの開発・製造】
この製品のPRに悩み、面白みのある販促グッズとして、副産物を使用したトートバッグを制作することにしました。以前から作業を依頼していた「就労継続支援B型事業所 rico」での製造を前提とし、「縫製作家15」と見た目と作業性を両立できるデザインを工夫しました。

【クラフトビール製造時の麦の絞り粕を使った手漉き紙の開発・製造】
本取組の内容を伝えるため、製品に大判の紙タグをつけています。ここにも取組の一部として、副産物を原料とした味のある手漉き紙を使用しています。小型で誰でも手漉き紙が作れる装置「紙屋英三郎」を製造販売する「第一クリエイティブ」で副産物の特性に合わせた紙の開発・製造を行いました。

6.応募した取組の今後の計画・展開

【地産原料を使用したクラフトビールの展開】
ハチミツに限らず地産原料を使用した新製品の開発を継続し、「駿府の工房 匠宿」と周辺観光・宿泊施設の拡大とも合わせ、静岡市を訪れる魅力の一つとなることを目指し販売・PRを継続します。

【今回開発したグッズ、手漉き紙の展開】
「駿府の工房 匠宿」にて、クラフトビールとセットでの取扱を継続します。さらに本取組で得た麦の空き袋の加工や、麦の絞り粕を原料とした手漉き紙製造のノウハウは新たな販促グッズや店舗什器の製造に活用できる可能性を秘めており、取組の拡大に繋がりたいと考えています。

7.汎用性(他の事業所・団体が参加・真似しやすい)ポイント

本取組のスキームは、特に地域の中小規模の事業者において、比較的費用をかけずに魅力ある商品を開発製造し、さらに地域の活性化に資する取組を行うヒントとなると考えています。

【地域の技術を活用】
・手漉き紙が少量から簡単に作れる紙漉き装置
・布製品のデザインと縫製

こうした小回りの効く地域企業・個人の技術を活用し少量でも製品を形にすることができます。

【地域の人の力を活用】
就労継続支援事業所との協働により、企業は地域の人的資源が確保できます。また作業に携わった製品が地域で販売されることは利用者のやりがいにも繋がります。

【地域の素材を活用】
ハチミツに限らず、静岡市には農作物、畜産、海産物等の高品質な素材が多くあります。生産者以外の視点からの提案で想定されていなかった魅力的な製品が生まれることもあります。